

【ノーコードツールを使用した予約システムの開発】

Development of a reservation system using no-code tools

機械系コース 小林 蘭是 (Kobayashi Ranze)

1 はじめに

飲食店や病院、銀行などで待ち時間を長く感じたことのある人は多くいると思う。内定企業の交流会でこんな支店があったらというグループワークでは多くのグループから待ち時間を課題に挙げたアイデアが発表された。その中の予約制に注目し、システムを開発したいと考えた。またノーコードは国内企業でも導入が進んでいる開発手法でプログラミングの知識が浅い人でもアプリやウェブサイトを作れるため注目した。

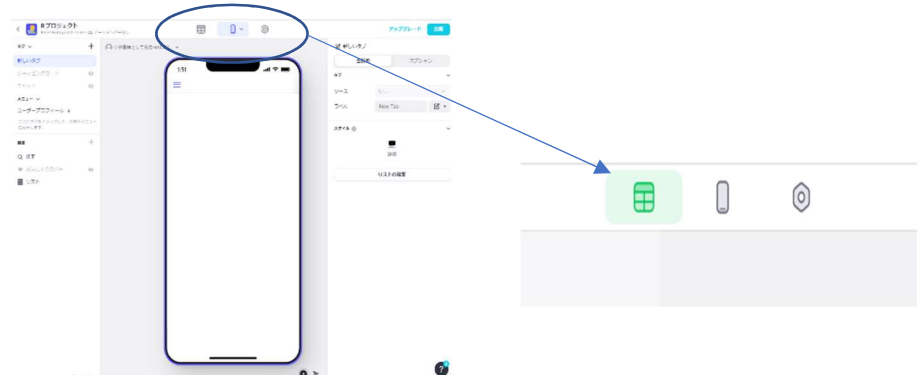
2 研究内容

ノーコードツール「Glide」を使用し銀行を例に予約システムを開発する。実際に自分自身で開発を行いノーコードが国内企業で導入が進んでいる理由、将来性を考察する。

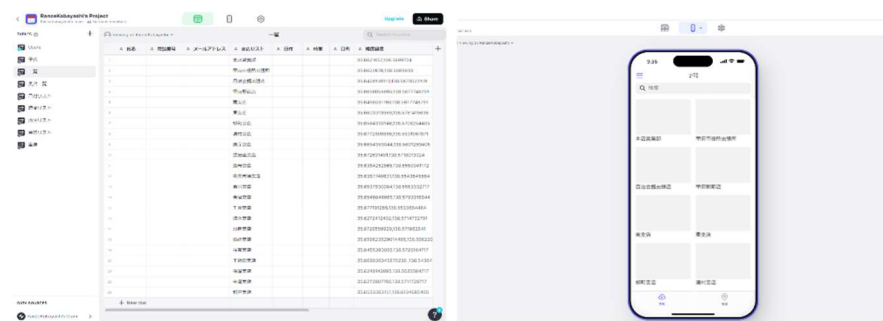
3 取組状況

3.1 表示画面の作成

編集画面は大きく分け左、中央、右に分かれる。

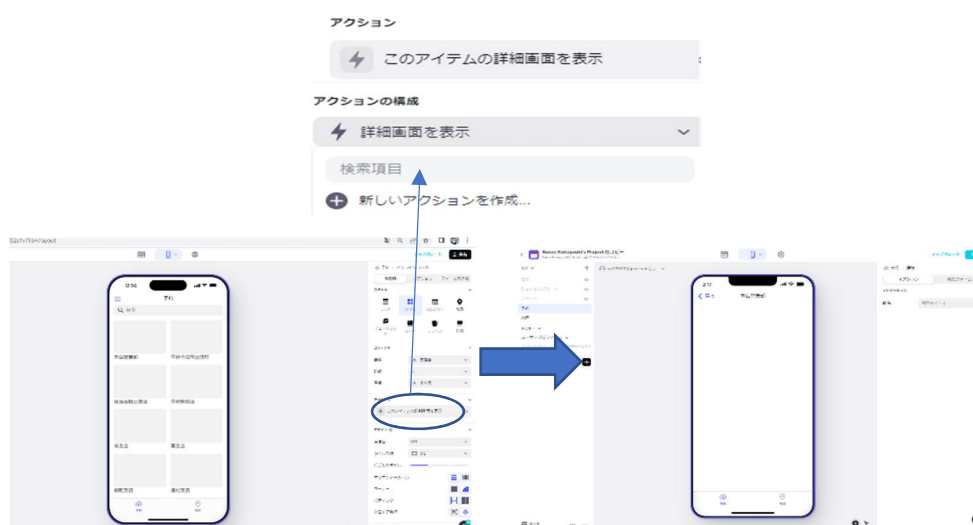


左「テーブルの表示」中央「イメージ画像の表示」右「基本設定」となっている。中央に表示したいデータをまずはテーブルで作成する。その後中央の画面で表示したいテーブルを選択する。まずは店舗を選ぶ画面を作成する。

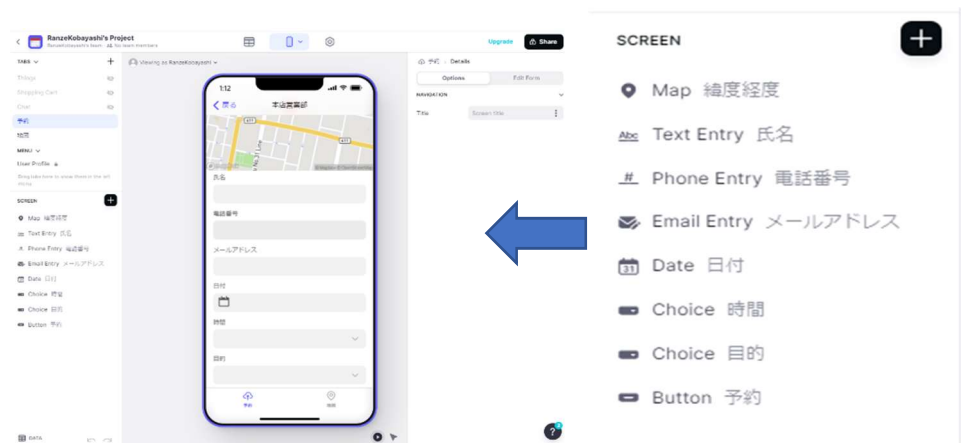


表示画面作成後、次のアクションを作成する。

3.2 詳細画面の作成



「詳細画面を表示」を選びこの画面で予約の日付、時間、目的などの入力画面を作成する。



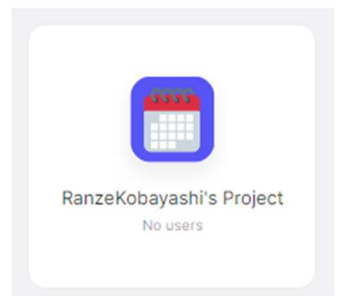
予約ボタンを押し入力された情報をテーブルにある予約用のシートに入力されるプログラムを作り、情報が正確に入力されているか確認する。

予約						
A 氏名	A 電話番号	A メールアドレス	A 支店一覧	A 日付	A 時間	A 目的
1 a	00000000	aaaaa@icloud.com	本店支店	2022/11/23 0:00:00	9:00~10:00	現金口座の新規作成
2 b	11111111	bbbbb@icloud.com	自治会館出張店	2022/11/20 0:00:00	14:00~15:00	普通預金の入金・出金
3 c	22222222	ccccc@icloud.com	専任出張店	2022/11/22 0:00:00	10:00~11:00	住宅ローンや教育ローンなどの融資の相談
+ New row						

ユーザーはテーブルにあるシートを閲覧できないので管理者のみが予約情報を確認できる。

4 研究成果

Glide を使い予約をおこなえるシステムをつくることはできたがセキュリティ面に関しては不十分であると感じた。プログラミングの知識も浅く、はじめてノーコードに触れたがソースコードを書くのに比べ短い期間で作成できることが分かった。ノーコードは自由度が少なく定型的事項に限定されてしまうがアプリが作りやすいもの、サイトが作りやすいもの、それぞれのツールで特徴があるので、作成したいものに向けたツールを選択することで限定されている範囲内でも十分に作れると感じた。オンラインショップやデリバリーサービス、情報共有アプリなどもノーコードで作られているものがあると調べてわかった。国内企業でも導入が進んでいる理由は知識がなくても直観的に扱える使いやすさと作成にかかる時間の短さだと感じた。



5 考察

近年、プログラマーの需要は増加しているが人手不足の問題がある。ノーコードを使うことでこれまで外注や専門のプログラマーに任せていた社内システムを内製化することが可能になると考える。内製化することで時間、費用を抑えることができ業務の効率化に繋がる。現在はノーコードの提供企業が国外企業に集中しているため国内企業からの提供が増えることでより日本に浸透するのではないかと考えた。